

inkumi 広島

VOL. 482
令和8年10月

発行／広島県印刷工業組合

発行人／宇都宮 公徳

広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954

URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp



第3回常任理事会

夢メッセ三役会

夢メッセ「業界報道機関説明会」及び
「出展者説明会」

セミナー開催「公民連携の奨め～選ばれる
企業になるための実践講座～」in 広島

備後支部だより

新役員紹介 青木 一夫 理事

木戸 翼 理事

お詫び いんさつ広島9月号の記事内容訂正

事務局だより

彩りの秋、広がる印刷の可能性

秋空の下、風にそよぐコスモスは、広島街に静かな彩りを添えています。その可憐な花姿は、見る人の心をやわらかく包み込み、忙しい日々の中にそっと安らぎをもたらしてくれます。淡い色合いの花々が一面に広がる光景は、季節の移ろいとともに、私たちの心にも穏やかな余韻を残します。

印刷物もまた、季節の情景や人々の思いを形にし、確かな存在として届ける役割を担ってきました。パンフレットや広報誌、書籍、ポスターなど、私たちが日々手がける仕事は、誰かの記憶や感情に寄り添い、社会の中で静かに息づく「伝える力」を持っています。

コスモスが咲き誇るこの10月、印刷の持つ温かさと可能性を改めて見つめ直し、組合員の皆様とともに、地域の文化と産業を支える仕事を丁寧に積み重ねていきたいと思っています。

「役員会レポート」

8月26日、広島ガーデンパレスの会場に於いて、夢メッセ2026開催に向け、常任理事会・夢メッセ三役会・報道発表・出展説明会が開催された。

第3回常任理事会開催**― 新企画「ペーパーサミット in 夢メッセ」やセミナー構成を中心に議論 ―**

午後1時より常任役員9名が参加し、新企画「ペーパーサミット in 夢メッセ」を含むイベント全体構成の最終調整が中心となり、進捗報告と意見交換が行われた。

■パンフレット内容と修正点

パンフレットでは、夢メッセの構成を①基調講演②ソリューションセミナー③ペーパーサミット in 夢メッセの3本柱として整理。各ページの誤記修正などが確認された。

■新企画「ペーパーサミット in 夢メッセ」

今年度の新企画として、技術・商品展示を「ペーパーサミット」として統一名称で展開する。点字印刷、セキュリティ印刷、箱紙加工など、支部ごとに1社ずつ出展を依頼した結果、18社が参加予定である。また、体験コーナーでは「段ボール展示」「缶バッジ作成」「リング製本」などを予定しており、紙面掲載用の写真素材を追加する提案が示された。

■セミナー時間割の再検討

搬入開始が8時となったことから、特別セミナーを午前に移動する案が議論された。午前中の集客向上や展示との動線改善を目的とし、調整することとした。

ソリューションセミナーは各社時間要望による調整をしており変更困難ですが、全体の流れを最適化する方向で検討を進めるよう提案があった。

**■開催要領・担当表**

ポスター表彰は朝のオープンセレモニー内で実施する方針が示された。担当表は暫定案として提示され、司会や案内アナウンスの役割について意見交換が行われた。ペーパーサミットの案内強化のため、出展者名をパンフレットへ掲載する案が提案された。

■報道発表・説明会資料の確認

来場者目標は昨年同様1,500名(昨年実績:延べ1,200名)。案内発送は9月中旬、申込締切は9月末を予定。チケットは1日券6,000円/2日券10,000円。

夢メッセ三役会開催

午後2時10分より役員14名が参加し開催した。冒頭、宇都宮実行委員長より「しっかり内容を詰めて来月から準備にかかって行ければと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します」と挨拶があり議題に入った。

今回の会議は常任理事会で議論した内容に関して、三役会メンバーで意識合わせを行い、「運営要領」、「パンフレットの確認」、「チケット販売目標」やこの後の報道発表や出展者説明会等の意識合わせを行った。

【夢メッセ三役会 議題】

- (1) 夢メッセ開催に向けての確認事項の説明
 - ・夢メッセパンフレット
 - ・新企画「ペーパーサミット出展者一覧」
 - ・夢メッセ開催要領/運営関係担当表
 - ・報道発表資料・出展者説明会資料
- (2) チケット販売目標について
- (3) その他

「業界報道機関説明会」及び「出展者説明会」の開催

午後3時より印刷時報(株)堀之内様とニュープリンティン(株)楠本様が参加され、「業界報道機関」説明会

が、3時50分より実行委員4名と出展企業の担当者が8名が参加され、出展者説明会が開催された。



「公民連携の奨め～選ばれる企業になるための実践講座～」in 広島

ー 印刷会社の新たな役割と可能性を探る ー

9月2日14:30～16:30、広島印刷会館にて、全日本印刷工業組合連合会 産業戦略デザイン室 SR部会によるセミナー『「公民連携の奨め～選ばれる企業になるための実践講座～」in 広島』が開催された。本セミナーは全国10カ所で実施されるシリーズの第1回目であり、目標を上回る約30名の参加があった。



■宇都宮理事長挨拶

冒頭、広島県印刷工業組合・宇都宮理事長より、「印刷業界は“下請け”“仕事をもらう”という意識に偏りがちだが、地域を良くするためにどう変わるべきかを考える機会にしたい」との言葉があり、セミナーへの期待が述べられた。

■SR部会長・岩間氏挨拶

続いて、SR部会長の岩間氏（山形県印刷工業組合）が登壇。産業戦略デザイン室の副委員長として、竹倉委員・渡辺委員・東委員・宮崎委員の5名で2年間活動してきた経緯を紹介し、研究成果としてまとめた冊子を全国で広く知ってもらうため、今年度は10カ所でセミナーを開催することを説明された。



■産業戦略デザイン室の役割

本題に入る前に、産業戦略デザイン室の概要が紹介された。

産業戦略デザイン室は、バブル崩壊後の経営環境変化や印刷需要の縮小を背景に、印刷産業が自ら戦略を描く必要性から2009年に創設。現在は

- (1)北極星部会（未来像の事業化）
- (2)イノベーション部会（未来探索）
- (3)SR部会（地域連携）

の3部会体制で活動している。

北極星部会では、SFプロトタイピングを用いて未来を構想し、印刷会社が持つ「情報整理」「人や地域をつなぐ」「体験価値を生み出す」力を統合したXI（体験インテグレーター）の考え方を提唱。成果物ではなく「どんな体験を提供するか」を起点に事業を構想する新しい視点が紹介されました。

また、印刷会社が取り組む体験価値の事例収集のため、アンケートへの協力が呼びかけられた。

■講義：SR調達と公民連携でつくる地域の未来

講師はSR部会委員である竹倉氏（半田中央印刷）。少子高齢化・地域経済の縮小が進む中、地方には未解決の課題が多く存在し、印刷会社が地域でどのように

価値を発揮できるかが問われていると説明された。

1. 印刷会社は「地域の編集者」

印刷会社は行政・学校・商工会議所など多様なプレイヤーと日常的に接点を持ち、

- (1)情報整理
- (2)伝え方の設計
- (3)関係者の調整
- (4)地域資源の発掘

など、編集者的な役割を果たしてきた。

これは、地域課題に向き合ううえで大きな強みであり、行政・地域コミュニティ・民間の間に立つ存在として機能し得ると指摘している。

2. SRの視点が不可欠

地域に根ざし、雇用を生み、関係性を育んできた印刷会社の実績は、地域にとっての信用の土台である。しかし、その価値は黙っていても伝わらない。

竹倉氏は、

- (1)言語化
- (2)数値化
- (3)見える化

の重要性を強調し、印刷会社が地域で選ばれる存在になるためには、自社の価値を説明できる状態に整える必要があると述べた。

3. 行政の評価軸の変化

行政の仕事は複雑化し、価格だけでは判断できない案件が増え、プロポーザルが増加している。企画力・地域理解・運営力などが評価される場面が増え、企業の姿勢や地域への関わりが選定の材料となっている。

そのため、印刷会社は地域との関わりを棚卸しし、CSR認定制度・MUD認証・グリーンプリンティングなどを活用しながら、外部に伝わる形で整理しておくことが重要である。

4. 事例紹介：地域課題と事業の接続

SR実践ガイドで紹介されている3社のうち、今回は2社の事例が紹介された。

(1)ユーメディア（仙台市）

地域会議への参加をきっかけに、まちづくりの中心的役割へと発展。地域情報誌の発行やイベント運営で蓄積した企画力・運営力・地域との関係性が、エリアマネジメント事業へと接続し、異業種連携による組織設立へと広がった。

(2)秋田印刷製本（秋田県）

農家の「米が安くて困っている」という声をきっかけに、お米の価値を編集し、デザイン・パッケージを活かした販売事業を開始。地域製品の販売へと事業を広げ、官民共創コンソーシアムの設立へと発展した。

【共通点】

- ・地域課題を自分ごととして捉える



- ・長年の関係性を積み重ねる
- ・地域への関わりを経営と切り離さない
- ・小さな一歩から役割が広がる

そして、発注者・受注者の関係を越え、地域課題を共に考え、連携し、提案し、実行する「公民連携」へと進化している点が共通している。

5. 公民連携とは

公民連携は、行政と民間企業が課題設定の段階から共同で取り組み、地域の未来と一緒に考えるパートナーとなる関係である。従来の「仕様書 → 納品」という関係を越え、企画・実行・検証までを共に進める姿勢が求められる。

印刷会社が「相談したい相手」として選ばれるためには、地域との関わりを可視化し、説明できる状態に整えておくことが不可欠である。

6. まとめ

今回のセミナーでは、印刷会社が地域で果たしてき

た役割を再認識し、地域課題と事業を接続する新たな可能性が示された。地域に根ざした印刷会社だからこそできる価値創出があり、それをどのように言語化し、見える化し、経営に取り込むかが今後の鍵となっている。

広島での第1回開催を皮切りに、全国でのセミナーを通じて、印刷産業の未来を共に考える機会が広がっていくことが期待される。



【備後支部だより】

9 月例会

9月17日(水)、備後支部価値組委員会の9月例会(第266回)を開催しました。今回は、リコージャパン(株)の高月英剛さんをお招きし、「デジタル印刷」についてお話を伺いました。

ひとことで「デジタル印刷」と言っても、分かっているようで、いざ説明しようとするとうと意外と難しいものです。今回の例会では、印刷業界に携わる私たちにとってのデジタル印刷とは何か、また、お客様の立場から見たオフセット印刷との違いや、それぞれの得意分野・不得意分野について、分かりやすく教えていただきました。

さらに、なぜ今、多くの印刷会社がデジタル印刷に投資しているのか、そしてデジタル印刷がどのような武器になるのかについてもお話しいただきました。印刷業界の役割が変化する中、オフセット印刷とデジタル印刷を併用するメリットや、その先に広がる印刷ビ



ジネスの可能性について、熱い想いを込めて語ってくださいました。

お話の中で特に印象に残ったのは、「ものづくり × データ活用」、そして「印刷を知るデザイナーは商品づくりに強い」といったキーワードです。「〇〇」×「〇〇」という掛け算の発想。一つひとつでは埋もれてしまうような強みも、掛け合わせることで大きな価値になるのだという気づきをいただきました。

淡々とした語り口の中にも多くの示唆があり、引き込まれるように聴かせていただきました。参加された皆さんも真剣に耳を傾けておられ、あっという間の時間でした。



Quality of Ideas

私たちは、お客様の課題解決の
「お手伝い企業」です。

株式会社 原色美術印刷社

〒733-0833 広島市西区商工センター7丁目5-48
TEL: 082-277-3030(代) FAX: 082-278-3118

つくる力を、ひとつにつなぐ。

UNIX

Printing Solution Company

株式会社 ユニックス
〒733-0034 広島市西区南観音町20-38

Tel: 082-231-2131
Fax: 082-293-4578
http://www.unix-print.jp

J-CONNECT 運用開始に伴う登録のお願い

全印工連では現在、84 にのぼる多彩な事業を展開しており、その一つ一つが組合員企業の経営基盤強化や業務効率化につながるものです。ところが、そうした有益な情報や事業が、必ずしも組合員の皆様のもとに十分に届いていないという現状があります。情報を届ける手段として、メールマガジン、広報誌『Xi』、ホームページ、動画サイト『印カレ』、共創ネットワーク通信など手段はいくつかありますが、組合員の皆様全体にはなかなか伝わらないという現状がありました。この課題を解決するために、2024 年より約1年半の開発期間を経て誕生したのが、「J-CONNECT」です。

全国の組合員が1つのプラットフォームにつながり、情報を共有し、互いに連携できる環境が整いましたので、メールアドレスを提供いただき、是非活用をお願いしたいと考えております。

J-CONNECT とは

東京都印刷工業組合が運営する「CONNECT」を全国版へ展開し、2026 年10月からの運用開始が予定されているサービスです。

利用する人	集約するもの	目指す状態
・全国の組合員企業 ・各都道府県工組の事務局 ・全印工連	・お知らせ・イベント ・企業情報・メッセージ ・案件・資料・意見交換	・必要な情報へ早く到達 ・相談先を全国から探せる ・事務局業務を効率化

J-CONNECT の位置づけ



これまで「メール」「電話」「個別資料」「人づて」に分かれやすかった情報・問い合わせ・案件相談を、J-CONNECT 上で扱えるようにすることで、組合全体の情報流通をスムーズにする考え方です。

こんなときに使う

イベント情報を確認したい ホーム画面から案内を確認し、そのまま申し込み。	特殊加工ができる会社を探したい 技術・加工方法などのキーワードで全国の組合員企業を検索。
自社で受けきれない案件を相談したい 全国の組合員へ相談し、対応可能な企業と直接やり取り。	委員会資料や議論をまとめた グループ、チャット、ファイル共有、アーカイブを活用。

利用開始までの流れと今後のスケジュール

2026 年10月1日の運用開始に向け、登録メールの配信、企業情報の登録、各地区での説明会を段階的に進める計画です。

2026 年9月	準備	各工組から、組合員企業名・登録用メールアドレスを全印工連へ提出。
2026 年10月1日	運用開始	J-CONNECT に紐づけたメールアドレスへ情報登録開始メールを一斉送信。組合員各社が企業情報を登録し、工組事務局が登録状況を確認。
2026 年10月23日・27日	オンライン説明会	23日11:00～、27日13:00～にJ-CONNECT オンライン説明会を予定。
2026 年11月～2027 年1月	地区別説明会	北海道・東北、関東甲信越、中部、近畿、中国、四国、九州の各地区で順次開催予定。
2027 年1月	未登録者対応	未登録組合員へのID／パスワードを一斉登録。
2027 年4月	有料運用へ	全印工連から各工組事務局への年会費請求を開始予定。

トライアル期間

2026/10/1～2027/3/3 課金は各工組事務局あてに2027年4月から

登録用メールアドレスの取り扱い

- 提出内容は「組合員企業名」と「メールアドレス」。
 - J-CONNECT への登録、ID／パスワード発行、J-CONNECT の運用や全印工連・各工組からの情報提供に必要な範囲で取り扱わせていただきます。
- ※スケジュールは今後変更となる場合があります。

組合員企業ができること

10 の機能を「情報」「仕事」「交流」「共有」の4テーマに整理すると

A. 情報を受け取る

1	組合からのお知らせをまとめて確認	最新情報・イベント案内・委員会情報などをホーム画面で確認。
3	イベントの確認・申し込み	セミナーや勉強会を確認し、そのまま申し込み。クレジットカード決済、見積書・領収書の発行にも対応。

B. 企業・仕事をつなぐ

4	全国の組合員企業を検索	会社名だけでなく「スクリーン印刷」「箔押し」など、技術・加工方法のキーワードでも検索。
5	仕事・案件の相談	自社だけでは対応できない仕事を全国の組合員に相談し、対応可能な企業と直接やり取り。
10	自社・自社サービスのPR	企業情報、設備、実績、写真などを登録し、検索で見つけてもらいやすくする。

C. 連絡・交流する

2	メッセージの送受信・管理	自分宛ての連絡や案件を受信ボックスで一元管理し、対応状況も管理。
6	組合員同士のグループ交流	委員会、支部、地域などのグループを作り、チャット形式で情報交換。ファイル共有も可能。
7	ディスカッション・情報交換	Q&Aや特定テーマについて、組合員同士で意見交換。

D. 資料・意見を蓄積する

8	資料・ドキュメントの共有・保存	委員会資料などを保存・共有し、過去資料もアーカイブとして管理。
9	アンケートの実施・回答	組合員向けアンケートをオンラインで実施・回答。

利用料

料金は各組合員から個別徴収する形ではなく、「工組負担金」と「組合1社あたり費用」を各工組事務局へ請求させていただきます。

区分	年間	月額相当
工組基礎額	12,000 円	1,000 円
組合員1社あたり費用	720 円	60 円

計算式

年間負担額 = 12,000 円 + (組合員数 × 720 円)

J-CONNECT を起点とした今後の展開

J-CONNECT は単体の情報共有ツールではなく、今後の組合員向けデジタルサービスへアクセスする“入口”として構想されています。

組合員向け EC サイト	組合員が無料で出店できる EC サイト。
企業価値・M&A 関連	無料で使える企業価値算定ツールや、買い手企業情報がわかる M&A ポータルサイト。
案件流通 DX	印刷業案件流通 DX プラットフォームを企画中。

【新役員紹介】

宇都宮理事長とともに歩む新たな一歩

広島県印刷工業組合

理事 青木 一夫

青木印刷株式会社 代表取締役



今年度より広島県印刷工業組合の理事を拝命いたしました、青木印刷株式会社の青木一夫と申します。昭和38年生まれの62歳、父の代から続く事業を受け継ぎ、二代目として日々励んでおります。父が営んでいた個人事業の青木印刷所を、20年前に法人化し、代表取締役として経営に邁進してまいりました。同じ呉支部である宇都宮理事長のもと、その名に恥じぬよう、誠心誠意活動していく所存です。

言うまでもなく、私たちを取り巻く印刷業界は、デジタル化や情報伝達手段の多様化に加え、人手不足や原材料価格の高止まりなど、かつてない環境変化のただ中にあります。従来型の大量印刷を中心としたビジネスモデルは転換を迫られ、付加価値の高い企画提案、デジタルメディアとの連携、環境配慮型の生産体制など、各社が新たな方向性を模索しています。

一方で、紙や印刷物には、情報を「かたち」として残し、手ざわりや質感を通じて想いを伝える力があります。デジタル全盛の時代だからこそ、印刷物の持つ信頼性・保存性、そして「手に取って読む」という体験価値が、あらためて見直されていると感じております。だからこそ、個々の企業努力にとどまらず、業界全体としての連携と発信が重要であり、まさに組合の役割が問われているのではないのでしょうか。

微力ではございますが、これまで現場で培ってきた経験を生かし、組合員の皆様のお声に真摯に耳を傾けながら、特に次の三点に力を注いでまいります。

① 情報共有と学びの場づくり

技術動向、市場変化、働き方、人材育成など、各社が抱える課題や成功事例を持ち寄り、共に学ぶ機会をさらに充実させてまいります。セミナーや勉強会に加え、双方向の意見交換の場を設け、「顔の見えるネットワーク」としての組合価値を高めていきます。

② 地域とのつながり強化

印刷は行政・企業・学校・NPOなど、多様な主体と関わる産業です。地域行事への協力、学校教育への支援、環境配慮型印刷の普及などを通じ、地域社会から信頼され、必要とされる業界であり続けることを目指します。

③ 次世代人材の育成と魅力発信

若い世代に印刷業の魅力と社会的意義を知っていただく取り組みを進めるとともに、若手経営者や中堅社員の皆様が積極的に組合活動へ参加できるよう、風通しの良い運営に努めてまいります。

とは言っても、浅学非才の身であり、一人で成し得ることには限りがございます。歴代役員の皆様が築かれた伝統と信頼を大切に受け継ぎつつ、先輩諸氏のお知恵をお借りし、同世代・若い世代の皆様と力を合わせ、より良い組合運営に少しでも寄与できますよう、全力を尽くす覚悟です。

何かと行き届かぬ点もあろうかと存じますが、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますとともに、組合事業への一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

HEIDELBERG

ハイデルベルグ・ジャパン株式会社

本社 〒140-8541 東京都品川区東品川3-31-8 TEL 03-5715-7377
広島営業所 〒731-0121 広島市安佐南区中須1-1-12-1301号 TEL 082-846-4180
www.jp.heidelberg.com/

モリサワ



Morisawa Fonts

文字とつながる。世界がひろがる。

フォントのサブスクリプションサービス

豊富な書体ライブラリー／複数デバイスでの利用
簡単なフォントインストール



【新役員紹介】

変化の時代を楽しみ、共創で時代を進む

広島県印刷工業組合

理事 木戸 翼

有限会社アド・オーガスト 代表取締役



この度、理事を拝命致しました有限会社アド・オーガストの木戸です。若輩者ではありますが、組合の重責を担うことになり、身の引き締まる思いですが、それ以上に「広島の印刷業界を盛り上げたい」という気持ちを持って頑張ってまいりたいと思います。現在、青年部の部会長として2期目を迎えさせていただいておりますが、この度、理事という立場で、より業界および社業を盛り上げられるよう努めてまいります。

私が青年部会の活動を通じて日々感じていることは、業界を取り巻く環境が激しく変化する中で、仲間たちと、情報交換や印刷業の将来への可能性を語り、懸命に仕事と向き合う仲間たちの姿勢です。私自身、経営者1年生とまだまだ未熟ではございますが、青年部の活動を通じて、理事長を始めとする諸先輩方のサポートができるよう、またしっかり学びを得たいと思っています。

理事という重責を担うにあたり、諸先輩方が築いてこられた組合運営を大切に守りながら、青年部会員達の若い意見を吸い上げ調和できるよう頑張ります。

私個人といたしましては、制作を主とした業務を事業として行っております。制作現場に置かましても目まぐるしく変わる環境のなか、不安を感じながらも新しい挑戦に挑む心を忘れずに事業をおこなっております。

この不安を感じながらも挑戦するということは、今業界全体に通じることだとも感じています。私たちが扱う「印刷」とは単に紙にインクを載せることではなく、お客様の思いを形にし、社会と繋げる究極のクリエイティブだとも感じています。

全国の青年部会では活動休止となっている県、組合が徐々に増えてまいりました。確実に次世代に繋げるためにも理事として青年部会として、バトンを繋げられる一人のランナーとして頑張ってまいります。

重ねまして若輩者ではございますが、青年部会長として培ったフットワークを武器に、諸先輩方の想いをしっかりと受け継ぎ伝えていきたいと思います。

至らぬ点も多々あると存じますが、皆様の厳しくも温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。組合員の皆様と共に、広島県の印刷業界をより一層盛り上げていけることを楽しみにしております。

どうぞよろしくお願い致します。

Duplo
from print to documents
デュプロ株式会社 広島支店
広島市西区南観音5-14-6
TEL 082-295-0022

RICOH
imagine. change.

印刷事業者の“真”のパートナーとして、
前例にとらわれない新たな答えを創り出す
RICOH BUSINESS BOOSTER

リコージャパン株式会社 PP事業部 九州中国GCグループ
〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀3-33広島ビジネスタワー15F
TEL:082-511-2465 FAX:082-511-2702

訂正とお詫び

いんさつ広島9月号に掲載いたしました「夢メッセ開催告知ポスター 準グランプリ受賞作品紹介」の記事において、本来掲示すべき準グランプリ受賞ポスターとは異なる方の作品を誤って掲載しておりました。

関係者の皆様ならびに読者の皆様にはご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

正しいポスターは以下の通りです。

今後は確認体制をより一層強化し、同様の誤りが生じないよう努めてまいります。

夢メッセ開催告知ポスター
準グランプリ

榎原色美術印刷社
石丸 祐加 氏



広島県最低賃金は56円(5.2%)
引き上げて
「時間額 1,141円」に

広島地方最低賃金審議会は、令和8年8月17日、広島労働局長に対して、「広島県最低賃金を『時間額 1,141円』に改正することが適当である。」旨を答申しました。広島労働局長は、答申を受け、その要旨を公示して異議申出（期限9月1日）に関する手続等を行います。その後、異議申出に係る審議を経て、広島県最低賃金を改正決定することになります。

改正決定の効力発生日は、早ければ令和8年10月11日となる予定です。

事務局だより

◎ 組合のうごき

9月	2日	SR調達セミナー(in 広島)	印刷会館
	4日	印刷の月	—
	9日	印刷の月記念式典	東京
10月	30日	夢メッセ三役会 支部長会・拡大理事会	印刷会館
	14日	常任委員会④	沖縄
11月	16日	全日本印刷文化典沖縄大会	沖縄
	17日	全印工連事務局研修	沖縄
		全青協各県青年会代表者会議	
		全印工連フォーラム	
	30日	夢メッセ(1日目)	広島
	31日	夢メッセ(2日目)	ガーデンパレス

●永年勤続従業員の表彰募集
締切 10月9日(金)

県工組では、組合企業従業員の永年にわたっての精励をねぎらうとともに、勤労意欲の向上を図るため永年勤続の表彰を実施します。ご案内は1日に発送していますが、該当者については10月9日(金)までに、「永年勤続表彰者推薦書」を県工組へご提出ください。

◎組合員の異動

【脱退】 商号：(有)弦本印刷所

脱退年月：令和8年9月30日

[広島西北支部]

20,000種を超える紙の販売

紙製品の開発・販売 レインボー名刺製造・販売 ノベルティ商品販売

Toyo
KamiSyouji

東洋紙商事株式会社
since 1905

東洋紙商事株式会社

広島市西区商工センター6-1-12
TEL 082-277-2341 FAX 082-277-6818
web site <http://www.tokami.co.jp>